

「財産白書」の概要について

- 公共施設の利用状況、運営コスト、老朽化等を一元的に把握
- 併せて、人口予想、財政見通し、地域ニーズを把握し、今後の施設のあり方について、市民の皆様とともに考えていく資料

1 将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成 25 年 3 月公表）

		平成 22 年	平成 52 年	増減数	増減率
市 全 体		811,901 人	668,345 人	▲143,556 人	▲18%
内 訳	高齢者（65～）	188,716 人	249,221 人	60,505 人	32%
	生産年齢	519,787 人	355,904 人	▲163,883 人	▲32%
	年少（～14）	103,398 人	63,220 人	▲40,178 人	▲39%

区別の減少見込（H22～H52）～上記推計から試算～

10%未満	10～15%	15～20%	20～25%	25%以上
江南区(-1%)	中央区(-12%)	秋葉区(-16%) 西区(-16%)	北区(-23%) 東区(-23%)	南区(-28%) 西蒲区(-33%)

2 政令指定都市との比較(施設の保有状況)(平成 23 年度公共施設状況調査より)

【公共施設の全面積】→ 市民 1 人あたり **3.26 m²** (政令市平均 3.30 m²)

(市営住宅を除くと) → 市民 1 人あたり **2.82 m²** (政令市平均 2.16 m²)

※市営住宅以外の合計値、学校、行政庁舎は、市民 1 人あたり政令市最大の保有

3 公共施設の将来費用予測

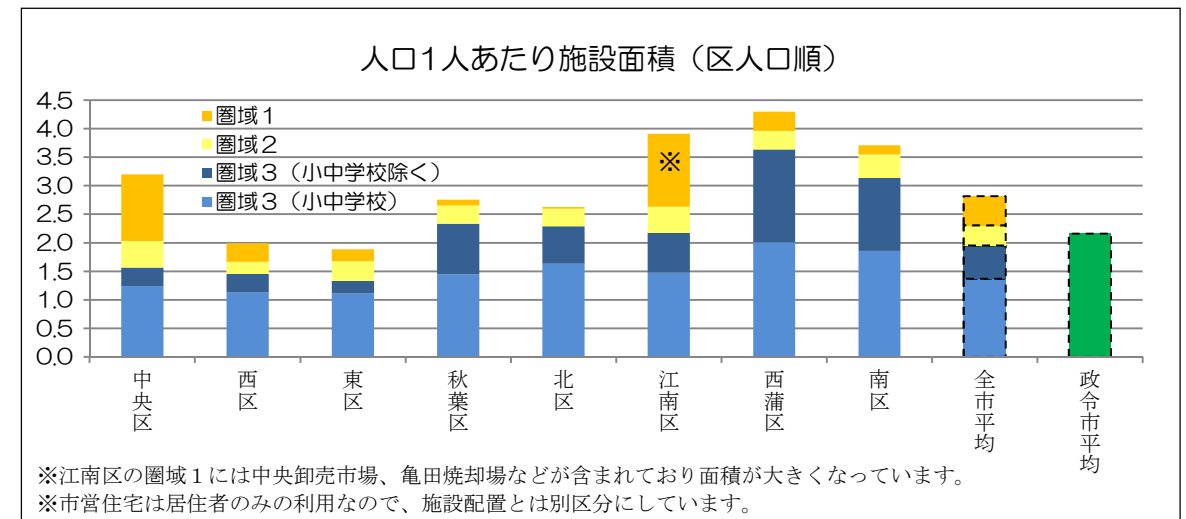
公共施設を既存数量のまま維持（補修、修繕、建替）した場合の将来費用を予測

シナリオ	50 年間の必要更新額	年平均の更新額①	H17～24 平均額②	年平均不足額 ① - ②
標準建替 周期 60 年	1 兆 2,223 億円	245 億円	121 億円	124 億円
長寿命化建替 周期 80 年	8,988 億円	180 億円		59 億円

4 区別の建物保有比較（公共施設の目的別圏域区分）

圏域	要件	施設例
1	全市民対象（全市で 1 施設）	芸文、市美術館、歴史博物館、本庁舎
2	1～3 区で 1 施設	市民会館、総合体育館、区役所
3	地域密着（各区内に複数）	学校、保育園、コミュニティ、出張所

区別施設配置状況（市営住宅を除く）



5 建物（行政財産）保有施設の内訳（白書対象施設の延床面積比率）

学校(幼稚園)	市営住宅	庁舎	体育施設	コミュニティ	子育て
48%	14%	7%	6%	5%	3%

6 公共施設についての市民意識（H25 市政世論調査から）

月数回以上の利用している市民	コミュニティ施設	13.1%
	体育施設	9.5%
自動車で施設を利用している市民	コミュニティ施設	57.9%
	体育施設	91.6%
公共施設は、現状維持もしくは、削減や統合で良いとの回答		66.7%

7 施設の用途分類別にみた現状（利用者 1 人あたりコストと利用率）

施設種別	利用者 1 人あたり平均コスト	平均利用率
コミュニティセンター	499 円 【426 円】（1 回 1 人）	32%（コマ数）
地区公民館	1,596 円 【1,059 円】（1 回 1 人）	35%（コマ数）
図書館(500 m ² 以上)	337 円 【313 円】（1 冊あたり貸出コスト）	
小学校（児童/年）	76 万円 【57 万円】 最高 236 万円～最少 38 万円	
中学校（生徒/年）	83 万円 【69 万円】 最高 194 万円～最少 49 万円	

※ コストには人件費を含むが、新增設等の大規模工事は除く
※ 平均コストは施設単位平均と【全市平均】を表示